

きました

平成23年度卒業の里親登録学生のからのメッセージが届きました

#### 看護学科 Oさんからのメッセージ

働き始めて1ヶ月がすぎ、学生の時とは違い、自分の言葉や行動の一つ一つに責任が伴い、気が休まらない日も多いですが、その分たくさんの学びや充実感を得ています。実際、働いて感じたのはこういう時どういう言葉をかけてあげるのがベストなのだろうか、あの言葉かけで良かったのかなと感じる場面がよくあります。里親学生支援室の行事では実際に患者さんとお話しし、意見や考えを聞ける機会が多いと思います。意外に気づかないがこういう言葉を使われると信頼しがたいとか、実際に不安を打ち明けたとき、この人に打ち明けて良かったと思えるような対処はどんなものだったのか等ということは医療者になってからはなかなか聞けないと思います。たくさんの人と関わる機会を持たせていただいていると思うので、学生だから聞けることを今のうちにいっぱい聞いて、自分が働いた時に生かしていってほしいなと思います。

#### 看護学科 Kさんからのメッセージ

里親登録学生のみなさん  
私は2年間という短い間でしたが、里親の先生からたくさん  
のことを学びました。  
里親の先生を臨床家・専門家としての側面だけでなく、人  
生の先輩として頼ることも多くありました。  
人間関係が希薄な現代において、このような機会は大変貴重  
だと思います。  
特に、私たちは医療を施す対人専門職種です。  
人間性を磨いて優しい気持ちで患者さんに接することができる  
温かい医療者が、求められていると思います。  
くじけそうなこともたくさんあると思いますが、これからは  
がんばってください。

#### 看護学科 Yさんからのメッセージ

里親を終えて  
私は看護編入で里親に入ったので二年間の関わりしかあり  
ませんでした。一回だけ宿泊を通した研修にも参加させて  
もらいました。滋賀の魅力が十分に伝わり、就職する際は  
滋賀に就職したいと思えるようになりました。里親の人と  
は一度だけお会いし、救急看護の必要性や役割を丁寧に教  
えて頂きました。二年間ですが里親に入って良かったと思  
っています。機会があれば私自身も里親になりたいと思  
いました。滋賀に興味のある方、ない方でも里親に入れば楽  
しいイベントが待っていると思います。

## プチ里親の方からのお知らせです

2012年5月17日

「彦根市の地域医療を守る会」第14回 勉強会 について

テーマ『湖東圏域医療福祉ビジョンについて』

日 時： 6月16日(土) 10:00～11:30

場 所： 彦根市立病院 医療情報センター

詳しくは→ [彦根市の地域医療を守る会14回.pdf](#)

## 2012年度 事業計画

2012年5月16日

- |         |  |
|---------|--|
| 4月～3月   | 里親学生支援室において本取組の実務を行う。  |
| 4月～5月   | 新入生に対して、参加登録の募集を行う。  |
| 5月      | 参加登録希望学生の属性や希望事項等の調査を行う。   |
| 6月      | 学生と「里親」をマッチングさせる。  |
| 6月      | 里親学生支援室員と学生との懇談会を行う。   |
| 8月      | 県内出身自治医大同窓会主催のワークショップに参加する。  |
| 8(9)月   | 夏期宿泊研修を実施する。<br>(滋賀医療人育成協力機構と協同で実施)  |
| 10月     | 若鮎祭(学園祭)開催時に滋賀医療人育成協力機構と協同で『地域「里親」ブース』を開設し、取組事業のPRを行う。<br>里親、プチ里親と学生との交流の機会ともする。 |
| 10月～11月 | 教職員向けのFD研修会を開催する。<br>(滋賀医療人育成協力機構と共同で開催)   |
| 11月     | 編入生に対して、参加登録の募集を行う。  |
| 1月      | 「里親」「プチ里親」向けのFD研修会・意見交換会を開催する。<br>(滋賀医療人育成協力機構と協同で開催)                            |
| 3月      | 春期宿泊研修を実施する。<br>(滋賀医療人育成協力機構と協同で実施)  |
| 3月      | 次年度の計画をたてる。  |